

活動概要

貢献しているSDGs目標 4を中心に、全目標

- ユネスコスクールの仲間を1000校(全国の3%)以上に増やし、持続可能な開発のための教育(ESD)の教育理念を共有し、具体的な指導方法を共に開発・実践。その成果を国内や、ユネスコを通じて世界にも発信。ESDの教育観を浸透させ、国際的な連携も深化。
- 全ての教科・領域の学習を「環境・多文化理解・人権・学習スキル」という視点から統合的・横断的につなぐESDカレンダーや、主体的で対話的な学習指導方法などを推進。
- SDGsとESDの関係性を明確化する「SDGs実践計画表」を開発し、学習指導要領のカリキュラム・マネジメントを関連づけて普及。

SDGs実施指針における実施原則(本アワード評価基準)

普遍性: ESDカレンダーが国内及び各国で活用されているほか、同校のSDGs実践計画表も翻訳をされ、各国に共有予定。

包摂性: 「誰一人取り残さない」の理念に立ち、指導・評価観を達成度型ではなく方向目標型に変更。一人一人が多様な視点から学びを始め、学習のあり方を広げている。

参画型: 子どもが主体的に考え、実践することを重視。また、地域や関係機関と連携し、社会に開かれた教育を実施。

統合性: ESDカレンダーは統合的な教育そのものである。また、6年間を通し、SDGs全目標を主体的に学んでいる。

透明性と説明責任: 保護者、地域及び関係機関に対し開かれた学校であり、保護者、地域及び児童アンケートも実施。

▼ESDカレンダー

統合的に学ぶ・6年「未来にはばだけ」を中心としたESDカレンダー 江東区立八名川小学校

教科領域	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語										
算数										
理科										
社会										
総合										
英語										
特活										
道徳										
音楽										
図工										
体育										
家庭										